

## 郡上農林事務所の普及活動状況 令和4年12月31日現在

### 今月の重点活動

#### ■水田農業 郡上市農業振興大会において普及活動成果を発表

12月3日に美並町の「日本まん真ん中センター」において、郡上市農業振興協議会の主催により、郡上市農業振興大会が開催された。

大会では、各農業団体・教育機関等の活動報告に加え、郡上農林事務所から「米コンテストを中心とした水田農業の活性化」と題して、日ごろの普及活動の成果を発表した。

発表では、米コンテストによる郡上米のブランド化や転作作物としての大麦生産、WCSによる耕畜連携等の取り組みについて、現地の状況や成果、今後の展望などを報告した。

農業普及課では今回の発表を通じて、水田農業における産地の活性化を推進し、今後の普及活動に取り組んでいく。



【成果発表の様子】

### 郡上の農業・農村を支える人材育成

#### ■新規就農 「農林水産FEST in 名古屋」で就農相談

12月3日に農業普及課は郡上地域での就農希望者を募集するため、中濃地域就農支援協議会とともに名古屋市で開催された就農相談会である「マイナビ農林水産FEST」に参加した。当日は13時から17時まで、東海地域の自治体を中心に全国8団体がブースを設置し就農相談に応じた。

中濃地域就農支援協議会のブースには9組の相談者が訪れて地域の取り組みについて熱心に耳を傾けていたが、今回が初めての参加でまだ手探り状態である方が多い印象であった。

農業普及課からは引き続き、就農希望者へ郡上地域の情報を提供し、就農支援を継続していく。



【相談に応じる中濃地域  
就農支援協議会】

### 安心で身近な「郡上の食」づくり

#### ■水稲 郡上産米ブランド化研究会の研修会を開催

12月22日に郡上総合庁舎にて郡上産米ブランド化研究会による栽培研修会が開催された。

研修会では、第8回郡上おいしい米コンテスト最優秀賞者である白鳥町六ノ里の生産者から、落ち葉や自家製菌を使っていること、無農薬・無化学肥料で栽培していることや、全国食味鑑定コンクールin小諸に参加した感想などの話を聞いた。また、市の農業アドバイザーからは食味向上に向けたポイント、農業普及課からコンテストの分析結果などを情報提供した。

この研究会は、平成28年の発足時より郡上産米のブランド化に向けて、会員相互の技術向上のための視察や研修会を実施しており、農業普及課では、今後も活動を支援していく。



【栽培研修会の様子】

## 郡上農畜水産物のブランド展開

### ■夏秋トマト 夏秋トマト部会が販売実績検討会を開催

12月16日に郡上園芸特産振興会夏秋トマト部会が販売実績検討会を開催し、出荷成績優秀者への表彰と今年度の販売実績の振り返りを行った。

表彰では、シーズンを通して安定した出荷した者に贈られる郡上農林事務所長賞を約11tの単収を上げた部会員が受賞したほか、50t以上の出荷量を上げた部会員らを表彰した。各受賞者から経営改善上のポイントとして「病害予防を徹底する」「作業を効率よく行う」などのコメントがあった。

また、今年度の振り返りとして、作期後半の安定生産が課題として挙げられ、農業普及課から定植を遅くする作型を組み合わせることが提案された。



【農林事務所長賞を受賞する組員】

### ■夏だいこん ひるがの高原だいこん生産出荷組合が通常総会を開催

12月9日に「第50回ひるがの高原だいこん生産出荷組合通常総会」が県、市、市場関係者など来賓を招き開催された。

総会では今年度の事業成果として、消費拡大や安定生産安定出荷に向けた取り組みやぎふ清流GAP評価制度など安全安心なだいこん生産の取り組みが報告された。

また、次年度の事業計画では、これまで継続している異常気象対策に加え、資材価格高騰対策やぎふ清流GAP評価制度の更なる取り組みによるブランド力の強化などが提案され、原案どおり承認された。

農業普及課では、夏だいこんの産地出荷量の維持・増大に向け、今後も生産組合の活動を支援する。



【組合長による挨拶】

### ■夏秋いちご ひるがの高原いちご組合が出荷実績検討会を開催

12月13日に今年度の生産を振り返る機会として、ひるがの高原いちご組合による出荷実績検討会が開催された。

今年は、単価は高かったものの全国的に不作傾向となり、市場関係者からは「人の流れが戻り、業務用需要も旺盛になってきた」ことで出荷量を求める意見が出された。また、育成品種の現地試験を行っている農業技術センターからは、試作品種の調査結果について報告され、次年度も試験の継続が要請された。

農業普及課からは、農薬使用履歴から明らかになった防除内容の注意点や高温対策の現地実証結果などを説明した。また今後は次作に向けて防除暦の作成等を行い、引き続き安定生産のための支援を行っていく。



【検討会の様子】